

氏名	田 中 利 久
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3318号
学位授与の日付	平成11年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Rat Parathyroid Gland, with Special Reference to Its Blood Vascular Bed, Pericapillary Space and Intercellular Space (ラットの上皮小体、特にその血管床、毛細血管周囲腔と 細胞間隙について)
論文審査委員	教授 佐々木 順造 教授 徳永 勲 教授 赤木 忠厚

学位論文内容の要旨

成獣ラット上皮小体の血管床と毛細血管周囲腔および細胞間隙について血管鋳型標本、凍結割断試料、水酸化ナトリウム消化組織試料を作成し、走査電子顕微鏡で調べた。さらに、鉄コロイド処理組織切片と酵素消化組織切片を作成し光学顕微鏡と透過型電子顕微鏡で観察した。ラットの上皮小体は毛細血管網が豊富であった。毛細血管を囲む毛細血管周囲腔が明瞭に認められた。毛細血管周囲腔は毛細血管の基底膜と実質細胞の基底膜との間に存在し膠原線維を豊富に含んでいた。また、毛細血管周囲腔からは多数のクリスタ様突起の深い切れ込みが実質細胞層の深部まで伸びていた。実質細胞間の細胞間隙には、基底膜も膠原線維も認められなかった。実質細胞の表面は強く負に荷電して組織(細胞間)腔が維持されていた。

論文審査結果の要旨

本研究は、ラット上皮小体の血管床、毛細血管周囲腔および細胞間隙について血管鋳型標本、凍結割断試料、水酸化ナトリウム消化組織試料を走査電子顕微鏡で調べたものであるが、さらに従来ほとんど行われなかった鉄コロイド処理組織切片と酵素消化組織切片の光学顕微鏡・電子顕微鏡観察を併用することにより、ラットの上皮小体は豊富な毛細血管網と、豊富な膠原線維の認められる毛細血管周囲腔を有すること、毛細血管周囲腔からは多数のクリスタ様突起の深い切れ込みが実質細胞層の深部まで伸びていたこと、実質細胞の表面は強く負に荷電して細胞間腔が維持されていた事などを明らかにし、上皮小体研究において重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。